

第8回 自然環境共生技術研究会

人がつながる 技術がつながる

CoNECT 2025

Conference on
Nature Environment
Coexistence Technology



第8回CoNECTはオンライン形式と実会場での集合（発表者のみ）形式を併用して開催します。最新情報を共有し、交流を深める機会として、多数のご参加をお待ちしております。

主 催：環境省自然環境局・一社）自然環境共生技術協会

協 力：自然系調査研究機関連絡会議

実会場：TKP新橋カンファレンスセンター ホール13A

（発表者・座長/副座長・事務局のみ）

オンライン会議システム：MS Teamsを使用（定員200名）

令和7年

6月26日 木 13:00 ~ 17:30 27日 金 10:45 ~ 15:50

参加無料

NECTA会員限定

1日目 Web接続 12:30開始	13:00 ~ 13:05	開会挨拶	
	13:05 ~ 15:10	特定セッション1~2	野生生物・外来生物の保護管理、 野生生物の調査モニタリング
	15:20 ~ 17:30	特別講演：石井 実 氏 ～大阪府北部の里山林における チョウ類群集の保全の取組み～	（地方独立行政法人 大阪府立環境農林水産総合研究所 理事長）
2日目 Web接続 10:30開始	10:45 ~ 11:50	一般セッション1	自然環境調査
	11:50 ~ 13:00	昼食休憩	
	13:00 ~ 15:15	一般セッション2~3	野生生物保護管理の手法、 自然環境保全行動
	15:35 ~ 15:50	表彰式、閉会挨拶	

申込先

necta-1@necta.jp

件名に「CoNECT参加申込」と明記し、お名前、ご所属、メールアドレスをご記入の上、6月20日までに左記アドレスに送信ください（先着順）。

第8回 自然環境共生技術研究会【CoNECT2025】プログラム

CoNECT2025では、第1日目に「特定テーマ」に関する発表を集め、第2日目には「一般発表」とする2部構成としています。

第7回に続き自然系調査研究機関連絡会議（NORNAC）の協力のもと、同連絡会議参加団体からの発表2件を含みます。

【1日目】6月26日(木) 13:00～17:30

開会挨拶 環境省自然環境局 植田 明浩局長(予定)

特定セッション1(野生生物・外来生物の保護管理) 13:05～14:05

発表1 「大台ヶ原におけるニホンジカ個体数調整」 中田 靖彦((一財)自然環境研究センター)

発表2 「中部山岳国立公園上高地の集団施設地区におけるツキノワグマ管理のための体制構築事例」
栗木 隼太(信越自然環境事務所)

発表3 「奄美大島のマングースを根絶に導いた技術的ブレイクスルー」
橋本 琢磨((一財)自然環境研究センター)

発表4 「湿地におけるアメリカザリガニの捕獲方法の比較検討」
松尾 進(長崎県環境保健研究センター)・大庭 伸也(長崎大学教育学部)

特定セッション2(野生生物の調査モニタリング) 14:10～15:10

発表5 「車載カメラと深層学習を用いた侵略的外来植物の広域分布の観測」
安田 泰輔(山梨県富士山科学研究所)

発表6 「環境DNA調査によるコウライオヤニラミの本州初確認と夜間潜水調査による初期防除」
山下 慎吾(自然環境局生物多様性センター)

発表7 「ジオロケーターを利用した希少種チゴモズの渡り経路の推定」 谷口 裕紀(いであ株)

発表8 「人が近づけなくても生態系をモニタリングする～火山活動が続く西之島における遠隔調査技術開発～」
森 英章((一財)自然環境研究センター)

特別講演 15:20～16:20

「大阪府北部の里山林におけるチョウ類群集の保全の取組み」

地方独立行政法人大阪府立環境農林水産総合研究所 石井 実 理事長

ディスカッション 16:25～17:25 モデレーター:石井 実 理事長

【2日目】6月27日(金) 10:45～15:50

一般セッション1(自然環境調査) 10:45～11:50(発表12分+質疑3分、総合討論20分)

発表1 「自然環境保全基礎調査昆虫類分布調査における分布情報の収集について」
平松 新一(自然環境局生物多様性センター)

発表2 「池間鳥獣保護区における鳥類標識調査等を活用した鳥類調査について」
浜地 歩(株)プレック研究所、(株)沖縄文化環境研究所)

発表3 「現存植生図2024利活用事例集の作成について」 杉本 健介(アジア航測株)

一般セッション2(野生生物保護管理の手法) 13:00～14:05(発表12分+質疑3分、総合討論20分)

発表4 「フサヒゲルリカミキリの再導入試験」 岩本 千鶴(中国四国地方環境事務所)

発表5 「環境DNAを活用したジュゴン調査の可能性」 前原 裕ほか(日本工営株)

発表6 「愛媛県における特定外来生物初動対応の連携事例と課題」
村上 裕(愛媛県立衛生環境研究所生物多様性センター)

一般セッション3(自然環境保全行動) 14:10～15:15(発表12分+質疑3分、総合討論20分)

発表7 「シマフクロウ保全促進のための普及啓発事業」 大嶋 達也(釧路自然環境事務所)

発表8 「京都御苑アーカイブ」による魅力の継承について」 柳澤 暁(京都御苑管理事務所)

発表9 「日本版 Bee Hotel の可能性～日本における実践と展望～」 村尾 竜起(株)地域環境計画)

表彰・閉会 15:35～15:50

表彰・講評 番匠克二(自然環境局自然環境計画課長)、森本幸裕((一社)自然環境共生技術協会長)

閉会挨拶 森本幸裕((一社)自然環境共生技術協会長)

※要旨・発表資料の公開場所は、後日参加申込者あてに案内します。

申込先

necta-1@necta.jp

件名に「CoNECT参加申込」と明記し、お名前、ご所属、メールアドレスをご記入の上、左記アドレスに送信ください(先着順)。